

令和 5 (2023) 年度
【令和 4 (2022) 年 10 月入学を含む】

北海道大学大学院医学院
医科学専攻修士課程

学生募集要項

北海道大学大学院医学院

北海道大学大学院医学院医科学専攻修士課程の概要

1. 教育理念, 教育目標, 求める学生像, 入学者選抜の基本方針

医学院は、北海道大学の4つの基本理念（フロンティア精神、国際性の涵養、全人教育、実学の重視）及び医学院の教育理念（世界をリードする先進的医学研究の推進、高い倫理観と豊かな人間性を有する医学研究者・医療人の育成による人類の健康と福祉への貢献）の下、医学・生命科学・社会医学（公衆衛生学）に関する高い倫理観及び高度な専門的知識と研究及び教育・実践能力を備えた人材、ならびに健康および安全に対する多様かつ広範な地域社会または国際社会の要請に応えることのできる広くかつ高い見識を備えた人材の育成を教育目標に掲げ、「1. 生命現象の解明、疾病の克服、人類の健康の増進に向けて真摯に研究に取り組むことのできる人」、「2. 知的好奇心に富み、論理的な分析力、粘り強い行動力や協調性を有し、医学領域各分野において国際的なリーダーとして活躍できる人」「3. 入学前に外国語（英語）の基礎的読解力と作文能力を身につけている人」を求めます。

<評価方法と評価比重及び求める学生像と評価方法の関係性>

（修士）

入試区分	評価方法	評価比重	上記1に係る事項	上記2に係る事項	上記3に係る事項
一般選抜	課題論文	◎	✓	✓	
	専門科目試験	◎	✓	✓	
	外国語試験	◎			✓
	出願書類	○	✓	✓	
一般選抜 （公衆衛生学コース2年コース）	課題論文	◎	✓	✓	
	専門科目試験	◎	✓	✓	
	外国語試験	◎			✓
	出願書類	○	✓	✓	
一般選抜 （公衆衛生学コース1年コース）	課題論文	◎	✓	✓	
	専門科目試験	◎	✓	✓	
	外国語試験	◎			✓
	口述試験	◎	✓	✓	
	出願書類	○	✓	✓	

◎は特に重視する要素

○は重視する要素

✓は各評価方法において評価する求める学生像

2. 育成する人材像, 学位授与の方針

医科学専攻修士課程は、医学院の「教育目標」に基づき、

- ①医学・生命科学・公衆衛生学領域の研究者や教育者
- ②医療・公衆衛生関連分野の高度専門職業人
- ③保健医療や保健政策マネジメントなどの専門家

として、それぞれの領域において活躍できる基礎的知識と基礎的技能を有した人材を育成します。

こうした人材を育成するため、医科学専攻修士課程は、次の方針により学位を授与します。

- (1) 医学・生命科学に関連する研究の背景を理解し、生物学的重要性のある研究テーマや検証すべき仮説を立案するとともに、その妥当性を検証し得られた（実験・調査）結果を適切に分析することにより、新たなテーマや仮説を立案して持続的に医学・生命科学領域の発展に寄与する能力を身に付けた者に**修士（医科学）**の学位を授与します。

(2) 社会全体及び人々の健康と生活・安全に必要な仕組みを理解し、公衆衛生学上又は予防医学上の諸課題の解決に必要な情報の収集・分析により、健康の維持増進に向けた対策を立案するとともに、これを円滑に実施し、得られた結果を適切に評価することにより、新たな課題を次の対策につなげて持続的に公衆衛生学領域の発展に寄与する能力を身に付けた者に**修士(公衆衛生学)**の学位を授与します。

3. 教育課程の基本的な考え方

医科学専攻修士課程は、「育成する人材像」に掲げる人材を育成するため、これまでの学問領域の枠を越え、互に関連する教室の基礎的知識・技術の修得をはかる融合教育を展開します。また、多様化した社会のニーズに対応できる人材を育成するために、学修課題を複数の科目を通して体系的に履修する3つのコースワークを導入し、目的に応じた最善のコースの選択履修を可能にします。

【医科学コース】

医学・生命科学領域の幅広い知識を持って活躍できる高度専門職業人の育成を目的とするコースです。

【公衆衛生学コース（2年コース）】

社会全体ならびに人々の健康と生活、安全の維持・向上のために、公衆衛生上の諸課題に対し、幅広い知識と高い技能をもって活躍する人材の育成を目的とするコースです。

【公衆衛生学コース（1年コース）】

一定の実務経験を有する医師・歯科医師・薬剤師などを対象として、医療・公衆衛生領域で活躍できる高度専門職業人を1年で育成することを目的とするコースです。

なお、公衆衛生学コース（2年コース・1年コース）を選択した場合、衛生学教室、公衆衛生学教室、法医学教室、医療政策評価学教室、医学統計学教室、医学教育・総合診療医学教室、レギュラトリーサイエンス教室、先進医療マネジメント教室、医療安全管理学教室、ヘルスデータサイエンス教室のいずれかで学修する必要があります。

※ コースは出願時に選択し、入学後に決定します。（詳細については入学後にお知らせします。）

4. 教育課程の特色

医科学専攻修士課程では、「共通コア科目」、「必修科目Ⅰ」、「必修科目Ⅱ」、「選択科目」の4つの区分で授業科目を開講します。

共通コア科目は、大学院教育において基本となる素養の涵養を目的とした科目であり、全てのコースにおいて必修とします。この科目では、医学研究に関する基本的かつ体系的知識を提供する「基本医学研究概論」をはじめ、研究計画の立案、疫学や生物統計の基礎などを学ぶ「基本実験・研究計画法」、北海道大学の教育理念のひとつである全人教育を踏まえ、医学に携わる者として生命倫理観を涵養する「医倫理学序論」、基礎研究で得られた成果を臨床現場で新しい医療技術・医薬品として確立することを目的とした橋渡し研究の理解を促す「トランスレーショナルリサーチ概論」を開講します。

必修科目Ⅰは、各コースの専門性に特化した科目であり、それぞれのコースの教育目標に対応した科目を開講します。

必修科目Ⅱでは、研究データの統計的解析、プレゼンテーション技法の修得等を目的とした科目を開講します。更に、学生が入学後に配属される教室の研究指導教員が科目責任者となり、修士論文又は特定課題の研究成果の作成に必要な能力の涵養を目的とした実習を開講します。

選択科目では、コースを越えた幅広い視野や専門分野の枠を越えた専門的知識の修得を目的とした科目を開講します。

なお、「公衆衛生学コース」では、米国公衆衛生大学院協会の定める認定基準で必須とされる5領域（疫学、生物統計学、社会行動科学、保健医療管理学、環境保健学）の教育を行います。医学・理工学・人文社会科学を専門分野とする教員による学際的な教育体制により、公衆衛生学の専門家として求められる最

低限の知識・能力の修得を目的とした基礎科目を必修科目Ⅰで開講するとともに、多様かつ広範な公衆衛生学上の諸課題に関する専門的知識、情報収集能力、適格な判断力の養成を目的とした応用科目を選択科目で開講します。

区分	コース	医科学コース		公衆衛生学コース (2年コース)		公衆衛生学コース (1年コース)	
共通コア科目				授業科目名	単位		
				基本医学研究概論	1		
				基本実験・研究計画法	1		
				医倫理学序論	1		
				トランスレーショナルリサーチ概論	1		
必修科目Ⅰ		授業科目名	単位数	授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
		基本医学研究法Ⅰ	1	基礎疫学	1	基礎疫学	1
		基本医学研究法Ⅱ	1	基礎生物統計学	1	基礎生物統計学	1
				基礎社会行動科学	1	基礎社会行動科学	1
				基礎保健医療管理学	1	基礎保健医療管理学	1
				基礎環境保健学	1	基礎環境保健学	1
				基礎医学概論	1		
必修科目Ⅱ		公開発表演習	1	公開発表演習	1	研究発表技法Ⅰ	1
		研究発表技法Ⅰ	1	研究発表技法Ⅰ	1	研究発表技法Ⅱ	2
		研究発表技法Ⅱ	2	研究発表技法Ⅱ	2	基本公衆衛生学研究	10
		基本医学研究	10	基本公衆衛生学研究	10		
選択科目		※基本医学総論	[2]	※応用疫学			[1]
		臨床ゲノミクス概論	2	※応用生物統計学			[1]
		臨床情報工学	1	※応用社会行動科学			[1]
		臨床疫学	2	※応用保健医療管理学			[1]
		臨床病理・検査医学	1	※応用環境保健学			[1]
		基礎医学概論	1				
		臨床医学概論	1				
(履修方法)		共通コア科目から4単位、必修科目Ⅰから2単位、必修科目Ⅱから14単位、選択科目のうち、所属教室開講の基本医学総論を含めた10単位以上を修得すること。		共通コア科目から4単位、必修科目Ⅰから7単位、必修科目Ⅱから14単位、※印の選択科目から5単位以上修得すること。		共通コア科目から4単位、必修科目Ⅰから5単位、必修科目Ⅱから13単位、※印の選択科目から8単位以上修得すること。	

※単位欄の数字に[]がつけてある授業科目は、講義題目が異なるものであれば、複数個履修することができる。

○修了要件

医科学コース及び公衆衛生学コース(2年コース)については、大学院に2年(優れた業績を上げた者は1年)以上、公衆衛生学コース(1年コース)については、大学院に1年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ修士論文又は特定の課題についての研究の成果(公衆衛生学コース(1年コース)のみ)に関する審査及び試験に合格すること。

令和5(2023)年度北海道大学大学院 医学院医科学専攻修士課程学生募集要項

※ 新型コロナウイルス感染症対策のため、募集要項に記載の内容と異なる内容で試験を実施、若しくは、試験を延期又は中止する可能性があります。

1. 専攻及び募集人員

医科学専攻 20名

出願に先立ち、志望する教室の指導予定教員(13ページから18ページ「医学院の組織及び主な研究内容」参照)へ詳細な研究内容・研究計画について事前に照会・確認してください。

2 - 1. 出願資格 (令和5(2023)年4月入学)

医科学専攻修士課程に入学できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者又は令和5(2023)年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により、学士の学位を授与された者又は令和5(2023)年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は令和5(2023)年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は令和5(2023)年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和5(2023)年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって(5)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和5(2023)年3月31日までに学位を授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和5(2023)年3月31日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- (9) 令和5(2023)年3月31日までに、次のいずれかに該当する者であって、本学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた者(注記参照)
 - ① 大学に3年以上在学した者
 - ② 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
 - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
 - ④ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了

したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

- (10) 本学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和5(2023)年3月31日までに22歳に達するもの(注記参照)

注記 出願資格(9)又は(10)により出願する場合は、出願に先立ち「3. 出願手続(4) 出願資格審査」により申請してください。

なお、出願資格(10)における個別の入学資格審査とは、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者又は外国大学日本分校等の修了者など大学卒業資格を有しない者を対象として、研究歴及び実務経験等を個別に審査するものです。

2-2. 出願資格(令和4(2022)年10月入学)

医科学専攻修士課程に入学できる者は、次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 大学を卒業した者又は令和4(2022)年9月30日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により、学士の学位を授与された者又は令和4(2022)年9月30日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は令和4(2022)年9月30日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は令和4(2022)年9月30日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和4(2022)年9月30日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって(5)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和4(2022)年9月30日までに学位を授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和4(2022)年9月30日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- (9) 令和4(2022)年9月30日までに、次のいずれかに該当する者であって、本学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認められた者(注記参照)
 - ① 大学に3年以上在学した者
 - ② 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
 - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
 - ④ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

- (10) 本学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和4(2022)年9月30日までに22歳に達するもの(注記参照)

注記 出願資格(9)又は(10)により出願する場合は、出願に先立ち「3. 出願手続(4)出願資格審査」により申請してください。

なお、出願資格(10)における個別の入学資格審査とは、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者又は外国大学日本分校等の修了者など大学卒業資格を有しない者を対象として、研究歴及び実務経験等を個別に審査するものです。

3. 出願手続

(1) 出願期間

【前期試験】令和4(2022)年7月5日(火)から令和4(2022)年7月11日(月)まで

【後期試験】令和4(2022)年12月1日(木)から令和4(2022)年12月7日(水)まで

受付時間：土曜日、日曜日及び祝日を除き午前9時から午後5時まで

郵送(書留速達)により、**出願期間内に必ず到着するよう送付してください。**

なお、「2. 出願資格(9)又は(10)」により出願をする場合は、事前に出願資格審査をするので、「(4)出願資格審査」に記載の申請期間内(前期試験:令和4(2022)年6月15日(水)、後期試験:令和4(2022)年11月8日(火)まで)に所定の必要書類等を添え申請してください。

(2) 出願書類及び検定料

入 学 願 書	所定用紙
志 望 の 動 機	所定用紙
成 績 証 明 書	出身大学(学部)長が作成したもの。現姓名と異なる場合は改姓を証する書類(戸籍抄本等)を添付してください。
卒 業 証 明 書 又 は 卒 業 見 込 証 明 書	出身大学(学部)長が作成したもの (既卒の場合、学位情報が記載されていることを確認してください。) ただし、「2. 出願資格(2)」により出願する場合は、学士の学位授与証明書又は授与見込証明書を提出してください。 現姓名と異なる場合は改姓を証する書類(戸籍抄本等)を添付してください。 中国(台湾, 香港, マカオを除く)の大学を卒業、または卒業見込みの者は、卒業(見込)証明書に加えて、以下の書類を提出してください。 既 卒 者… a 学歴証書電子登録票(教育部学历证书电子注册备案表)(英語版) b 所属大学の原本証明を受けた卒業証書(毕业证书)及び学位証書(学位证书)の写し 卒業見込者… a オンライン在籍認証レポート(教育部学籍在线验证报告)(英語版) 上記のうち、書類 a は中国教育部認証システム(中国高等教育学历证书查询 http://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp)より取得してください。書類 b について、所属大学の原本証明を受けられない場合は、医学系事務部総務課医学院教務担当へ事前に相談してください。 また、提出時点で Web 認証の有効期限が15日以上残っていることを確認してください。
受 験 票 ・ 写 真 票	必要事項を記入し、写真票の写真(縦4cm・横3cm, 正面向き・上半身・脱帽)は、出願日前3カ月以内に撮影したものを、裏面に氏名を記入のうえ、指定欄に貼付してください。

受験票送付用封筒	定型封筒（23.5cm × 12cm）に344円切手を貼付し、郵便番号及び宛名並びに住所を明記してください。
宛 名 票	所定用紙（合格通知書及び入学手続関係書類送付用）
入 学 検 定 料	30,000円 最寄りのゆうちょ銀行又は銀行において、添付の振込用紙（ゆうちょ銀行・銀行併用型、5票式）により納付してください。 なお、国費外国人留学生（文部科学省奨学金受給者）は不要なので、願書提出の際、必ずその旨申し出てください。
検定料受付証明書台紙	氏名を記入し、上記の入学検定料を納付した際に交付される「検定料受付証明書E」を指定欄に貼付してください。
（該当者のみ） 在留カードのコピー	日本国外に居住する者はパスポートのコピーを提出してください。

（3）身体に障害がある者の申し出

身体に障害がある者で、受験及び修学に際して特別な配慮を必要とする者は、出願時に「（5）出願書類及び出願資格申請書類の提出先」へ申し出てください。

（4）出願資格審査

ア) 申請期間

【前期試験】令和4（2022）年6月9日（木）から令和4（2022）年6月15日（水）まで

【後期試験】令和4（2022）年11月2日（水）から令和4（2022）年11月8日（火）

郵送（書留速達）により、申請期間内に必ず到着するよう送付してください。

イ) 提出書類

「（2）出願書類及び検定料」の欄に記載されている出願書類及び次の書類を提出してください。

ただし、入学検定料の振込みは、出願資格審査の結果を受けた後、支払い期限までに添付の振込用紙により振込み、検定料受付証明書Eを検定料受付証明書台紙に貼付の上、「（1）出願期間」記載されている期間内に「（5）出願書類及び出願資格申請書類の提出先」に提出してください。

出願資格審査申請書	所定用紙	
返信用封筒	審査結果通知用：定形封筒に宛先を明記し、344円切手を貼付してください。	
以下の書類は、出願資格に応じて提出する	出願資格	提出書類内容
推 薦 書	(9)	在学大学（学部）長の推薦書
	(10)	研究した機関又は実務経験の機関の長等による研究内容又は実務内容の能力に関する推薦書
最終学歴に関する証明書及び資料	(9)	在学大学の成績証明書
	(10)	短期大学、高等専門学校、専修学校及び各種学校等の卒業者は、当該課程の卒業証明書及び成績証明書、並びに当該課程の入学資格、卒業要件及び修業年限が記載されている資料
大学を卒業した者と同等以上の学力に係る証明書	(10)	2年制の短期大学等を卒業した者については、2年以上の研究・実務経験等の内容の証明書 3年制の短期大学等を卒業した者については、1年以上の研究内容・実務経験等の内容の証明書 なお、論文等個別の学力を判断する資料等がある場合は、その資料を提出してください

※審査する上で必要と認めた場合は、上記以外の書類の提出を求めることがあります。

ウ) 申請書類の提出方法

郵送（書留速達）により提出するものとし、封筒表面に「修士課程出願資格審査申請書」在中と明記してください。

エ) 出願資格審査の方法

申請書類により出願資格審査を行います。

オ) 審査結果

出願期間までに出席資格審査結果を郵送により通知します。

(5) 出願書類及び出願資格申請書類の提出先

〒060-8638 札幌市北区北15条西7丁目

北海道大学医学系事務部総務課医学院教務担当

電話 (011)706-5018

4. 公衆衛生学コース（1年コース）について

公衆衛生学コース（1年コース）を選択履修できる者は、「2. 出願資格」を満たす者で、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 大学における医学、歯学又は6年制の薬学を履修する課程を卒業し、医師、歯科医師又は薬剤師として、2年以上の実務経験（臨床研修の期間を含む。）を有する者
- (2) 本学院において、個別の審査により、上記（1）に相当すると認められた者

上記（1）に該当する者で、公衆衛生学コース（1年コース）を志望する者は、「3. 出願手続（2）出願書類及び検定料」の欄に記載されている出願書類及び次の書類を「3. 出願手続（1）出願期間」に記載されている期間内に「3. 出願手続（5）出願書類及び出願資格申請書類の提出先」へ提出すること。

医師免許証、歯科医師免許証又は薬剤師免許証のコピー	白黒可、登録番号や氏名などがはっきりと確認でき、A4判に縮小したもの
在職期間証明書	在職時の職名、勤務期間を証明できる書類（任意の様式）
これまでの実務経験を踏まえ、1年コースを志望する理由、将来の展望等を記載した書類	所定用紙

上記（2）に該当する者で、公衆衛生学コース（1年コース）を志望する者は、個別の審査を実施するので、「3. 出願手続（2）出願書類及び検定料」の欄に記載されている出願書類及び次の書類を前期試験は6月15日（水）、後期試験は11月8日（火）までに「3. 出願手続（5）出願書類及び出願資格申請書類の提出先」へ提出すること。

ただし、入学検定料の振り込みは、本審査の結果を受けた後、支払い期限までに添付の振込用紙により、振り込み、検定料受付証明書Eを検定料受付証明書台紙に貼付の上、出願期間内（郵送の場合も期間内必着）に「3. 出願手続（5）出願書類及び出願資格申請書類の提出先」へ提出すること。

在職期間証明書	在職時の職名、勤務期間を証明できる書類（任意の様式）
これまでの実務経験を踏まえ、1年コースを志望する理由、将来の展望等を記載した書類	所定用紙
医療系の国家資格等を持っている場合は、保健師免許証などのコピー	白黒可、登録番号や氏名などがはっきりと確認でき、A4判に縮小したもの

5. 入学者選抜方法

学力試験及び、提出された成績証明書等を総合して判定します。

6. 試験日程及び試験室

(1) 医科学コース及び公衆衛生学コース（2年コース）を志望する者

試験日	試験時間	試験科目	試験区分	試験室
【前期試験】 令和4(2022)年8月16日(火)	8:40～8:50	(諸注意)		受験票発送時に併せて通知する。
	8:50～9:50	課題論文	筆答	
【後期試験】 令和5(2023)年1月17日(火)	10:30～12:30	外国語(英語)	筆答	
	13:30～	専門科目	筆答又は口頭	試験当日指示する

(2) 公衆衛生学コース（1年コース）を志望する者

試験日	試験時間	試験科目	試験区分	試験室
【前期試験】 令和4(2022)年8月16日(火)	8:40～8:50	(諸注意)		受験票発送時に併せて通知する。
	8:50～9:50	課題論文	筆答	
【後期試験】 令和5(2023)年1月17日(火)	10:30～12:30	外国語(英語)	筆答	
	13:30～	口述試験	口頭	試験当日指示する
	14:00～	専門科目	筆答又は口頭	試験当日指示する

※公衆衛生学コース（1年コース）を志望する者は、第1志望、第2志望を問わず、「(2) 公衆衛生学コース（1年コース）を志望する者」により受験すること。

7. 受験時の留意事項

- (1) 試験当日の集合時間・集合場所については、受験票発送時に併せて通知するので、指定する時間・場所に集合してください。
- (2) 外国語の受験に際しては、英和辞典及び英英辞典の使用を許可します。
ただし、電子機器による辞典の使用は許可しません。
なお、外国人留学生については、言語の種類を問わず複数の辞典の使用を許可します。
- (3) 入学願書の所定欄に第二志望まで記入した者は、両方の教室の専門科目を受験してください。

8. 合格者の発表

【前期試験】令和4(2022)年9月2日(金)午前10時

【後期試験】令和5(2023)年2月3日(金)午前10時

受験者へ郵送により通知します。

また午前10時頃、医学院ホームページ上に合格者受験番号を掲載します。

なお、電話等による可否の問い合わせには応じません。

9. 入学手続き等

入学手続きの概要は次のとおりです。(詳細は合格者に別途通知します。)

(1) 入学手続き期間（土曜日及び日曜日を除く）

【令和4(2022)年10月入学】

令和4(2022)年9月6日(火)から令和4(2022)年9月12日(月)まで

【令和5(2023)年4月入学】

令和5(2023)年3月3日(金)から令和5(2023)年3月10日(金)まで

※期間内に所定の手続きを行わない場合は、入学の許可を取り消す場合がありますので、ご注意ください。

(2) 入学料及び授業料

ア) 入学料：納入金額 282,000円【予定額】

なお、国費外国人留学生（文部科学省奨学金受給者）は不要なので必ずその旨申し出てください。

イ) 授業料：納入金額 半期分267,900円（年額535,800円）【予定額】

- ① 授業料については、入学後翌月中旬に本学から振込用紙を送付するので、その振込用紙を使用して納入してください。
- ② 入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな学生納付金が適用されます。

10. 注意事項

- (1) 入学願書の志望教室欄については、本募集要項の13ページから18ページに掲載されている「医学院の組織及び主な研究内容」を参照し、指導予定教員に当該教室の詳細な研究内容・研究計画を事前に照会・確認の上、記入してください。
- (2) 出願書類に不備がある場合は受理しないので、誤記、記入漏れのないよう注意してください。
- (3) 出願書類の変更には応じません。
- (4) 既納の検定料は、次の場合を除き、返還しません。
 - ア) 検定料を納付したが出願しなかった場合又は出願書類に不備があり、受理されなかった場合
 - イ) 検定料を誤って二重に納付した場合※ 返還には相当の日数を要します。

上記に該当する場合は、11ページの「問い合わせ先」へ請求してください。

なお、返還請求書類として、検定料納付後、金融機関から受け取る「検定料受付証明書E」又は「振替払込請求書兼受領書（振込金（兼手数料）受領書）D」が必要になるので、紛失しないよう注意してください。
- (5) 出願書類の記載事項が事実と相違する場合は、入学を取り消すことがあります。
- (6) 入学及び受験に関する照会については、所定の郵送料分の切手を貼付した返信用封筒を同封の上、行ってください。
- (7) 医師国家試験の受験資格は、医学部医学科を卒業した者とされており、本学院医科学専攻修士課程を修了しても医師国家試験の受験資格は与えられません。

11. 過去の入試問題について

本学院の入学試験問題のうち、外国語（英語）の試験問題については、過去3年分を公表しているので、希望者は「医学院修士課程入学試験過去問題請求」と明記したメモ用紙及び返信用封筒（角形2号封筒に宛名を明記し、250円切手を貼付したもの）を同封の上、次ページの「問い合わせ先」へ申し込むこと。

12. 長期履修制度について

本学大学院では長期履修制度を設けているので、同制度の適用を希望する者は、12ページ掲載の「長期履修制度について」を熟読の上、申請してください。

13. 個人情報の取り扱いについて

- (1) 本学院では、個人情報の取扱いについては、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「EU一般データ保護規則」を遵守するとともに、「国立大学法人北海道大学個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。

- (2) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選考実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜実施方法等に関する調査・研究、及び⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
- (3) 合格者のみ、(2)の個人情報を入学後の①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、奨学金申請、入寮選考、福利厚生等）、③就職支援関係、④授業料等に関する業務、⑤附属図書館利用に関する業務、⑥情報教育施設利用に関する業務、⑦災害緊急時の安否確認・連絡等に関する業務、⑧広報関係（広報物、行事のご案内等の送付）に利用します。
- (4) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は、入学者選抜方法等に関する調査・研究を行うために利用します。
- (5) 北大フロンティア基金（北海道札幌市北区北8西5,011-706-2017）及び本学関連団体である北海道大学体育会（北海道札幌市北区北17条西7,011-716-4815）から、当該組織への加入活動に係る情報提供の要請があった場合は、(2)の個人情報について、当該組織の活動に必要な範囲に限り提供することがあります。
- (6) (2)の個人情報は、取得した年度の翌年度から5年間保存されます。
- (7) 本学による個人情報の取り扱いは、EU一般データ保護規則第6条第1項(a)を根拠とし、当該同意に基づき、個人情報を取扱います。個人情報は、法令等に基づく場合を除き、同意のあった取扱い目的のみに使用されます。
- (8) (7)の同意は、いつでも撤回することができます。また、撤回前の同意に基づく適法な取扱いに影響を与えるものではありません。
- (9) 個人情報の提供者は、本学に対してEU一般データ保護規則及び関係法令等に基づいて、次の①～⑥を要求することができます。
- ①個人情報の開示、②個人情報の訂正、③個人情報の消去、④個人情報の取扱い制限、⑤個人情報の取扱いへの異議申し立て、⑥他の事業者への個人情報の移転
- (10) EEA（欧州経済領域）域内で個人情報を提供した者は、本学の個人情報の取扱い等に不服がある場合、EU一般データ保護規則第51条第1項に基づく監督機関へ申し立てることができます。
- (11) 上記(2)～(5)の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。業務委託に当たり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲に限り、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部が提供されます。
- (12) 日本の「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」の適用を受ける本学は、欧州委員会による十分性認定の決定の対象ではありません。

令和4(2022)年5月

北海道大学大学院医学院

〒060-8638 札幌市北区北15条西7丁目

問い合わせ先：北海道大学医学系事務部総務課

医学院教務担当

電話 (011) 706-5018

d-tanto@med.hokudai.ac.jp

長期履修制度について

(公衆衛生学コース (1年コース) は除く)

1. 長期履修の趣旨

長期履修制度とは、学生が職業を有している等(介護・育児等を含む)の事情により、標準修業年限(2年)を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修したい旨を申し出たときは、個別に審査のうえ、その計画的な履修(以下「長期履修」といいます。)を認めることができる制度です。

2. 長期履修の対象者

次の各号のいずれかの事由に該当する者で、かつ、当該事由により、学業に専念できないため、課程修了に要する学修(研究)計画年数を予め長期に設定することを希望する者が申請できます。

- (1) 官公庁、企業等に在職している者(給与の支給を受け、職務を免除されている者を除く。)又は自ら事業を行っている者等フルタイムの職業に就いている者
- (2) アルバイト、パートタイム等の職業に就いている者で、その負担により修学に重大な影響がある者
- (3) 育児・親族の介護等前2号に準ずる負担により、修学に重大な影響がある者
- (4) 視覚障害、聴覚障害、肢体不自由その他の障害を有している者で、その障害により長期にわたり修学に重大な影響があると認められた者

3. 長期履修期間

長期履修による修業年限の期間は、修士課程にあつては4年以内で、年を単位として申請することができます。

また、長期履修を認められた学生が在学できる年限は、修士課程の場合は認められた長期履修期間に2年を加えた期間までです。

なお、本学院において休学を許可することができる期間は、長期履修学生も標準修業年限の学生と同じく2年間です。

4. 長期履修の手続き等

(1) 申請期限

長期履修を希望する者は、入学願書提出時に申し出てください。申請用紙は医学系事務部総務課医学院教務担当にあります。

(2) 提出書類等

次の書類等を医学系事務部総務課医学院教務担当あて提出してください。

- ① 長期履修申請書(様式1-1)
- ② 理由書(様式2)
- ③ 長期履修計画書(様式3)
- ④ 長期履修が必要であることを証明する書類等

5. 長期履修期間の短縮又は延長

本学院において必要と認めるときは、長期履修期間の短縮又は延長を在学する課程においていずれか1回に限り認めることができます。

手続きについては、医学系事務部総務課医学院教務担当に照会してください。

6. 授業料の取扱い

入学時に長期履修が認められた者の授業料は、概ね標準修業年限に納付すべき授業料の額(年額×2年)を長期履修が認められた年数で除した額を年額として決定します。ただし、納入済みの授業料を遡って調整することはありません。【長期履修申請期間に係る授業料は、決定通知があるまで絶対に納入しないでください。】

医学院の組織及び主な研究内容

講座名	教室名	指導教員	主たる研究内容
生化学	分子生物学	畠山 鎮次 教授 (兼任)	※2 1. 細胞統合性基盤としての代謝と核内ジオメトリー 2. 細胞内オルガネラ動的ナノ構造 3. 癌治療抵抗性の分子基盤
	医化学	畠山 鎮次 教授	1. タンパク質分解システムにおけるユビキチン化の役割 2. がんや免疫における細胞内シグナル伝達 3. 質量分析によるタンパク質・脂質の機能解析
解剖学	解剖発生学	渡邊 雅彦 教授	1. シグナル伝達の分子発現と機能発現 2. グリアによる脳の機能調節 3. シナプス回路発達の分子機構
	組織細胞学	藤山 文乃 教授	1. 中枢神経回路の構造と機能 2. パーキンソン病の病態解明 3. 感覚装置の機械的・化学的受容機構 4. 内在性レクチンと糖鎖の機能形態学
生理学	細胞生理学	大場 雄介 教授	1. バイオイメージングによる細胞生理機能の可視化 2. 細胞内・細胞間シグナル伝達の制御メカニズム 3. 生体膜ダイナミクスの制御メカニズム 4. バイオイメージング技術の開発と応用
	神経生理学	田中 真樹 教授	1. 随意運動の神経機構 2. 前頭葉皮質の機能解析 3. 大脳基底核の機能解析 4. 小脳の機能解析
薬理学	神経薬理学	畠山 鎮次 教授 (兼任)	※1 1. セロトニン神経系の発達と機能障害に関する神経薬理学的研究 2. ストレスと情動機能に関する神経薬理学的研究 3. 衝動性制御メカニズムに関する神経薬理学的研究 4. 恐怖や不安発現に関わる局所神経回路の機能的分子基盤研究 5. 学習による神経回路再編成の光イメージング 6. 自閉スペクトラム症の神経回路機能異常の光イメージング 7. バーチャルリアリティの認知メカニズム 8. 新規神経活動イメージング技術の開発
	細胞薬理学	畠山 鎮次 教授 (兼任) 乗本 裕明 准教授	※1 1. レム睡眠・ノンレム睡眠の制御機構とその役割 2. 記憶の細胞基盤 3. 認知症の病態解析 4. 冬眠の分子・細胞基盤
病理学	分子病理学	谷口 浩二 教授	1. 炎症とがんに関する研究 2. 炎症と組織再生に関する研究 3. プロテオスタシスの異常と病態形成、老化に関する研究 4. 自己免疫、炎症性疾患の病態形成に関する研究 5. 自然リンパ球とその活性化システムの病態と生理 6. タイト結合に関する研究 7. 難治性がん病態解明のための新しい cancer-on-chip の開発 8. 人体病理学・外科病理学
	腫瘍病理学	田中 伸哉 教授	1. 外科病理・人体病理学に関する総合的な研究 2. がん発生メカニズム、がん幹細胞、がん治療法開発に関する研究 3. 疾患の網羅的遺伝子プロファイルの解析 4. バイオイメージング・迅速免疫染色法を用いた疾患の病理学的研究 5. バイオマテリアルを用いた細胞のリプログラミングの研究 6. 脳腫瘍、軟部腫瘍に関する NGS を用いた病理診断法の研究 7. 学生の興味に応じた自由な研究
	分子診断病理学	松野 吉宏 教授 外丸 詩野 准教授	1. 外科病理診断学（細胞病理診断学を含む）の研究 2. 新しい分子マーカーを用いた病理学的診断法の開発・応用に関する研究 3. 病理診断の精度向上と標準化の推進に関する研究 4. 臨床病理学的解析を基盤とする種々の臓器がんの生物学的・臨床的特性の解明
微生物学 免疫学	免疫学	小林 弘一 教授	1. TLR 及び NLR 蛋白ファミリーによる宿主防御メカニズムに関する研究 2. 自然免疫系と感染症および炎症性疾患の発症メカニズムに関する研究 3. Nod2 による腸管粘膜恒常機構とクローン病発症メカニズムに関する研究 4. CITA/NLRC 5: MHC クラス I 遺伝子のマスター制御因子に関する研究 5. がん細胞の免疫逃避メカニズムに関する研究 6. 新規がんバイオマーカーと免疫療法の開発に関する研究 7. 癌およびコロナウイルスに対する新規ワクチン療法の開発

微生物学 免疫学	病原微生物学	福原 崇介 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 肝炎ウイルス (HBV、HCV) の増殖性に関わるウイルス因子および宿主因子に関する研究 2. ウイルス感染による病原性発現機構の分子生物学的及び実験動物モデルを用いた研究 3. ウイルス感染症 (コロナウイルス、フラビウイルス) の診断法および抗ウイルス薬開発に関する研究 4. 人獣共通感染症 (ハンタウイルス、フラビウイルス) の疫学的、分子生物学的研究
社会医学	衛生学	上田 佳代 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境疫学に関する研究 2. 集団レベルの健康介入に関する準実験デザイン (分割時系列解析, 操作変数法) 3. 地上観測・リモートセンシング情報を用いた環境曝露評価に関する研究 4. 環境による健康リスク、疾病負荷評価および政策による健康インパクト評価 5. 介護施設における気候変動・自然災害・感染症流行など非常時の対応に関する研究 6. 認知症の行動・心理症状に関する疫学研究 7. 地球・地域レベルの物理・化学的環境や社会システムと人々の健康に関する研究
	公衆衛生学	玉腰 暁子 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一般地域住民を対象とした食と健康に関するフィールド調査 2. 高齢者の健康障害に関する研究 3. 高齢者の介護予防に関する研究 4. 中高齢者の疾病発生関連要因に関するコホート研究
	法医学	畠山 鎮次 教授 (兼担)	<p>※ 1</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 法医診断学に関する研究 (死因、死後経過時間、損傷、窒息、個人識別、死後 CT 画像診断) 2. 外因性異常所見の発生機序に関する研究
	医療政策 評価学	玉腰 暁子 教授 (兼担)	<p>※ 2</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 少子高齢化社会の課題解決に向けた国内外における地域住民の健康・福祉・介護に関する研究 2. HIV/AIDS, 性感染症, 人獣共通感染症, 生活習慣病などに関する疫学研究 3. 感染症等に対するリスク認知・危機管理に関する研究 4. 感染症など疾病に関する住民意識の指標化や啓発に関する研究
	医学統計学	畠山 鎮次 教授 (兼担) 横田 勲 准教授	<p>※ 1</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多変量生存時間アウトカム全般に関する研究 2. 診断法・予測モデル構築のための方法論研究 3. 臨床試験デザインの開発研究 4. 柔軟性を持たせた経時測定データとの同時モデル 5. 大規模データベース・公的データベース等を用いた臨床疫学研究
	医学教育・ 総合 診療医学	高橋 誠 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 指導方法や教材の開発に関する研究 2. 評価方法の開発に関する研究 3. 学習行動に影響する要因に関する研究 4. 医師のキャリア選択に影響する要因に関する研究
	レギュラトリー サイエンス	荒戸 照世 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 先端バイオ医薬品の開発に必要とされる試験内容に関する研究 2. 稀少疾病用医薬品の開発戦略に関する研究 3. 医薬品・医療機器の製造販売後調査に関する研究
	先進医療 マネジメント学	佐藤 典宏 教授	<p>※ 2</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床研究の方法論 2. 臨床試験のデータ管理学 3. 細胞治療・再生医療のための細胞プロセッシング管理学 4. 先進医療支援の方法論
	医療安全 管理学	南須原 康行 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 安全な医療を提供するための組織的対応についての研究 2. 医療安全管理者育成方法の研究 3. 医療事故調査方法の標準化に関する研究
ヘルスデータ サイエンス	伊藤 陽一 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. リアルワールドデータの取得方法に関する情報学的研究 2. リアルワールドデータのデータ管理に関する研究 3. リアルワールドデータの研究デザインおよび解析方法に関する研究 	
内科学	呼吸器内科学	今野 哲 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 喘息/COPDに関する前向きコホート研究 2. 呼吸器腫瘍の病因・診断・治療に関する研究 3. 慢性気道疾患、びまん性肺疾患の分子病態生理に関する研究 4. 肺循環疾患および心サルコイドーシスの病態・診断・治療に関する研究 5. 呼吸器感染症に関する基礎/臨床研究

内 科 学	免 疫・ 代謝内科学	渥 美 達 也 教 授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 膠原病の基礎的及び臨床的研究 2. 糖尿病・肥満症・脂質異常症の病態生理・診断・治療に関する研究 3. 内分泌疾患の病態生理・治療に関する研究 4. 腎疾患の基礎的及び臨床的研究
	消 化 器 内 科 学	坂 本 直 哉 教 授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 肝疾患の病態生理、診断、治療に関する研究 2. 膵臓、胆道疾患の病態生理、診断、治療に関する研究 3. 消化器悪性腫瘍の病態生理、診断、治療に関する研究 4. 炎症性腸疾患の病態生理、治療に関する研究 5. 消化器疾患の病態生理、診断、治療に関する研究
	循 環 病 態 内 科 学	安 斉 俊 久 教 授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 虚血性心疾患の病態生理・診断・治療に関する研究 2. 心不全の病態生理・治療に関する分子生物学的並びに臨床的研究 3. 心筋症の成因・診断・治療に関する研究 4. 生活習慣病の発症機構・診断・治療に関する研究 5. 不整脈の成因・診断・治療に関する研究 6. 心疾患の非侵襲的診断法の開発
	腫瘍内科学	今 野 哲 教 授 (兼 担)	<p>※ 1</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 悪性腫瘍全般に亘る診断、治療に関する研究 2. 肺癌・縦隔腫瘍の分子病態、診断、治療に関する研究 3. 消化器癌の分子病態、診断、治療に関する研究 4. 癌薬物療法に関する総合的研究 5. 癌の分子標的治療に関する研究 6. 癌のゲノム解析及びコンパニオン診断、個別化治療に関する研究
	血液内科学	豊 嶋 崇 徳 教 授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 造血器悪性腫瘍の分子病態・診断・治療に関する研究 2. 造血幹細胞移植および免疫細胞療法の安全性・有効性向上を目指す研究 3. 造血のしくみを解明するための研究 4. 悪性腫瘍及びウイルス感染症に対する細胞療法の開発 5. AIDS など免疫不全症の発症機序、診断、治療に関する研究 6. 輸血医学に関する研究 7. 血小板機能及び血液凝固線溶に関する研究
	健康管 理 学	橋 野 聡 教 授	<p>※ 2</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ストレスと健康障害に関する研究 2. 健康診断における EBM に関する研究 3. 有害物質による造血器障害に関する研究 4. 免疫性血小板減少症の病態・治療に関する研究 5. HIV 感染症の合併症・治療副作用に関する研究
	がんゲノ ム 医 療 学	木 下 一 郎 教 授	<ol style="list-style-type: none"> 1. がんのゲノム解析に関する研究 2. がんのゲノム異常に関する研究 3. がんのエピゲノム変化に関する研究 4. がんの新規バイオマーカーの開発 5. がんの分子標的治療に関する研究
放射線科学	放 射 線 治 療 学	青 山 英 史 教 授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 外照射治療の研究 2. 高精度 X 線治療に関する研究 3. 粒子線・陽子線治療の研究 4. 医学物理学に関する研究 5. 放射線治療に関わる生物学的研究
	画像診断学	工 藤 與 亮 教 授	<ol style="list-style-type: none"> 1. CT、MRI、超音波、核医学画像等の画像診断の研究 2. 血管造影・画像下治療 (IVR) の研究 3. アイソトープ治療の研究 4. 動態機能画像解析・AI 画像解析の研究 5. 造影剤・放射性医薬品の合成に関する研究 6. 安定同位体・放射性同位体を用いた分子イメージングに関する研究
外 科 学	消 化 器 外 科 学 I	武 富 紹 信 教 授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 消化器癌の悪性化の病態解明と新規治療法の開発研究 2. 消化器癌に対する新しい内視鏡およびロボット支援手術技術の開発研究 3. 移植免疫の制御に関わる研究 4. 臨床応用可能な臓器保存法の改良研究 5. 細胞移植成績向上を目指した病態および治療法の開発研究 6. 消化器外科領域における AI の応用研究 7. 外科教育の効率化を目指した研究 8. 小児悪性固形腫瘍と小児肝・胆道系疾患の基礎的研究と治療 9. 小児消化管機能の基礎的・臨床的研究

外 科 学	消 化 器 外 科 学 II	平 野 聡 教 授 七 戸 俊 明 准 教 授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 消化器癌の病態解明と外科的治療法の開発 2. 鏡視下手術法・器具の開発 3. 消化器癌高度侵襲手術における周術期管理法の研究 4. 膵・胆道癌に対する集学的治療戦略に関する研究 5. 分子生物学的手法を用いた癌悪性を評価するバイオマーカーの探索 6. 免疫治療に関するトランスレーショナルリサーチの展開 7. 癌局所微小環境における免疫応答の解析 8. 難治性癌に対する遺伝子治療に関する研究 9. 外科教育学に関する研究 10. 肥満・代謝手術に関する研究
	腎 泌 尿 器 外 科 学	篠 原 信 雄 教 授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 下部尿路閉塞に伴う排尿筋過活動の発生機構の研究 2. 膀胱刺激における神経伝導路の研究 3. 慢性移植腎拒絶反応の発生に関する研究 4. 移植免疫の機構及びその制御による治療法の開発に関する研究 5. 腎癌の癌化・進展機構の研究 6. 膀胱癌の転移・進展に関わる分子生物学的機構に関する研究 7. 前立腺癌治療における QOL に関する研究 8. 最小侵襲手術開発に関する研究
	心 臓 血 管 外 科 学	若 狭 哲 教 授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 重症心不全に対する外科治療に関する研究 2. 機能性僧帽弁閉鎖不全症に対する外科治療の研究 3. 心筋保護に関する研究 4. オートファジーから見た左室形成術の研究 5. 心房細動と代謝異常に関する研究 6. 大血管疾患に対するステントグラフト治療に関する研究
	乳 腺 外 科 学	高 橋 将 人 教 授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 乳癌の生物学的特性に関する研究 2. 乳癌の内分泌療法に関する研究 3. 乳癌の発症メカニズムと予防に関する研究 4. 新規の乳癌検診法開発に関する研究 5. 乳癌手術法開発に関する研究 6. 乳癌周術期薬物療法開発に関する研究 7. 転移再発乳癌に対する薬物療法開発に関する研究 8. 遺伝性乳癌に関する研究
	呼 吸 器 外 科 学	加 藤 達 哉 教 授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 低侵襲胸部外科手術の開発 2. 肺癌の集学的治療における手術療法の研究 3. 肺移植に関する研究 4. ナノ粒子を用いた胸部悪性腫瘍に対する光線力学的療法の研究 5. 網羅的がん遺伝子検査を用いた再発診断および分子標的治療法の研究 6. 免疫療法の研究 7. 悪性胸膜中皮腫、胸腔内播種性病変の研究
侵 襲 制 御 医 学	麻 酔 ・ 周 術 期 医 学	森 本 裕 二 教 授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 脳保護と脳蘇生に関する研究 2. 生体侵襲と全身管理に関する研究 3. 麻酔薬の神経毒性に関する研究 4. 術後認知機能障害に関する研究 5. 痛みの機序とその治療法に関する研究 6. 呼吸周期の機序と薬物の影響 7. 高気圧酸素治療の基礎と臨床 8. 手術部患者情報管理システムの構築と医療経済学
	救 急 医 学	森 本 裕 二 教 授 (兼 担)	<ol style="list-style-type: none"> ※ 1 1. 生体侵襲に対する生体反応の病態解明とその制御方法の確立 2. 生体侵襲に起因する多臓器不全の病態解明とその治療法の確立 3. 集中治療医学及び重症患者全身管理学 4. 心肺脳蘇生法 5. 中毒学 6. 災害医学 7. 救急医学・搬送・情報システム 8. 外傷学
機 能 再 生 医 学	整 形 外 科 学	岩 崎 倫 政 教 授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 運動器の組織再生 2. 変形性関節症の病態解明 3. 糖鎖、糖鎖受容体を介した骨、軟骨代謝制御機構に関する研究 4. 続発性骨粗鬆症における骨質異常に関する研究 5. 椎間板変性予防を目指した組織アポトーシス研究 6. 関節リウマチの病態解明に関する研究 7. 炎症反応による関節炎、骨融融解に関する研究 8. 運動器疾患に対する手術的治療法の生体力学的評価研究 9. 脊髄、末梢神経の再生治療法の開発研究

機能再生医学	形成外科学	山本有平 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 創傷治癒に関する分子生物学的研究と治療技法への応用 2. ケロイドの病態に関する基礎的研究と治療技法への応用 3. 再建外科における組織移植手技の開発と臨床応用 4. 皮膚軟部組織悪性腫瘍の分子生物学的研究と診断・治療技法への応用 5. 血管・リンパ管等の脈管再生医学 6. Tissue Engineering によるバイオ臓器再生医療 7. 顎顔面外科における病因解明と治療技法の開発
	リハビリテーション医学	畠山鎮次 教授 (兼任)	<p>※2</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 神経障害の機能回復と神経系の plasticity に関する研究 2. 高次脳機能障害とリハビリテーションの研究 3. 神経生理学的解析に関する研究 4. 疼痛のコントロールの研究 5. 筋力増強の分子生物学的研究
	スポーツ医科学	近藤英司 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. アスリートのパフォーマンス向上のための動作解析 2. 変形性関節症に対する機能再建法の開発 3. 関節の組織再生 4. 生体軟組織の再構築機序の解明と制御 5. 合成高分子ゲルの医療応用 6. 運動器疾患に対する先端治療技術および材料の開発
生殖・発達医学	小児科学	真部 淳 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 原発性免疫不全症の早期診断法の確立 2. 食物アレルギーの診断方法開発と経口免疫療法に関する研究 3. マクロライド耐性マイコプラズマの分子疫学的研究 4. 小児の血液・腫瘍疾患の診断と治療に関する研究 5. 小児の造血細胞移植と細胞療法に関する研究 6. 新たな小児内分泌疾患の遺伝学的解析 7. 先天性甲状腺機能低下症の包括的遺伝子解析 8. 脳磁図を用いたてんかん性疾患の病因・機能解析 9. 神経疾患モデル動物を用いた病態解析と治療法開発 10. 小児腎疾患における活性化壁側上皮細胞の役割についての病理組織学的研究 11. 小児心筋症の分子遺伝学的診断と治療に関する研究 12. ミトコンドリアドラッグデリバリーシステムを用いた心筋再生治療における開発 13. 新生児慢性肺疾患の予後改善に関する研究 14. 環境因子が胎児・新生児の健康に与える影響に関する研究 15. 先天性代謝疾患の臨床並びに基礎的研究
	産婦人科学	渡利英道 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 胎児・羊水の生理に関する基礎的研究 2. 出生前診断及び胎内治療に関する臨床的研究 3. 妊娠合併症の母体・胎児・新生児の管理に関する研究 4. 難治性不妊症に関する臨床的研究 5. 卵胞内生理学 6. 子宮癌発生機構並びに転移機構に関する分子生物学的研究 7. 女性生殖器悪性腫瘍の抗癌剤耐性機構の研究 8. 胎盤の増殖・分化の分子機構 9. 卵巣癌の新規分子標的治療開発に関する研究 10. 子宮頸癌に対する新たな効率的な検診方法の確立に関する研究
感覚器病学	皮膚科学	氏家英之 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 表皮の分子細胞生物学の研究 2. 遺伝性皮膚疾患の病態生理, 診断, 治療の研究 3. 自己免疫性水疱症の病態生理, 診断, 治療の研究 4. 皮膚悪性腫瘍の病態生理, 診断, 治療の研究 5. アトピー性皮膚炎の病態生理, 診断, 治療の研究 6. 皮膚をターゲットとした再生医療, 創傷治癒の研究 7. 脱毛症の病態生理, 治療の研究 8. 遺伝子治療, 蛋白補充療法などの研究
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	本間明宏 教授 中丸裕爾 准教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 感音難聴の病因論に関する基礎的・臨床的研究 2. ウイルス感染による感音難聴の基礎的・臨床的研究 3. 鼻アレルギーの基礎的・臨床的研究 4. 好酸球性副鼻腔炎の基礎的・臨床的研究 5. 悪性腫瘍の免疫学的研究 6. 頭頸部癌に対する化学療法の基礎的・臨床的研究 7. 頭頸部悪性腫瘍の分子生物学的研究
	眼科学	石田 晋 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 網膜細胞生物学 2. 眼免疫と炎症 3. 眼における神経保護 4. 眼腫瘍病理学 5. 眼表面疾患の病態生理および治療 6. 眼循環代謝学

神経病態学	精神医学	久住 一郎 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神疾患の精神病理 2. 精神療法の技法開発 3. てんかんの診断および治療法の開発 4. 精神疾患の分子遺伝学的研究 5. 精神疾患の病態モデル動物の開発と神経科学 6. 向精神薬の開発と精神薬理学 7. 精神疾患の画像研究 8. 精神疾患の神経生理学的ならびに神経心理学的研究
	脳神経外科	藤村 幹 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 悪性脳腫瘍の基礎的・臨床的研究 2. 脳血管障害の基礎的・臨床的研究 3. 脊髄外科の基礎的・臨床的研究 4. 中枢（脳及び脊髄）神経再生の橋渡し研究 5. 頭蓋底外科の臨床外科解剖 6. 脳血管障害の遺伝子学的研究 7. 脳循環代謝の病態生理学的研究 8. 小児神経疾患の臨床研究
	神経内科学	矢部 一郎 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 神経疾患の遺伝子解析及び分子生物学的研究 2. 神経・筋疾患の組織化学的研究 3. 免疫性神経疾患の発症機序及び治療法に関する基礎的研究 4. 神経疾患のバイオマーカー開発に関する研究 5. 臨床神経電気生理学 6. 神経疾患における認知機能障害 7. 神経疾患の疫学に関する研究
医生物学	神経生物学	神谷 温之 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 軸索の神経生物学 2. シナプスの神経生物学
免疫科学	免疫生物学	清野 研一郎 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 腫瘍免疫に関する基礎的・臨床的研究 2. 移植免疫に関する基礎的・臨床的研究 3. 細胞リプログラミングを用いた新しい免疫細胞再生医療に関する研究
	免疫機能学	村上 正晃 教授 (兼任) 北村 秀光 准教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 樹状細胞の機能を軸とした免疫制御機構の解明と疾患治療への応用 2. IL-6 シグナルカスケード依存的な免疫抑制機構の解明 3. 難治性喘息・慢性炎症の発症機序解明と治療法開発 4. 個別化医療の確立に向けたバイオマーカーの探索と同定
	分子神経免疫学	村上 正晃 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. IL-6 アンブによる炎症の慢性化と病気の関係の解析 2. ゲートウェイ反射の分子機構の解明による心理免疫学の創成 3. ニューロモデュレーションによる病気治療法の開発 4. SNP による組織特異的な炎症誘導機構の解明 5. 組織特異的な微小炎症の検出系と治療法の開発
	生命分子機構	野田 展生 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. オートファジーの分子機構の研究 2. 液-液相分離が制御する生命現象の研究 3. 構造に基づいた生体分子の作動機構の研究
癌病態学	幹細胞生物学	近藤 亨 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 神経幹細胞／前駆細胞の多能性・分化の分子機構に関する研究 2. 幹細胞／前駆細胞の老化の分子機構についての研究 3. がん幹細胞の性状解析と治療標的についての研究 4. 加齢性疾患と神経幹細胞／前駆細胞の関係に関する研究
	がん制御学	園下 将大 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. がん発生機序の研究 2. がん薬物耐性獲得機序の研究 3. 新規がん治療薬リード化合物の開発

※1 指導を希望する場合は、指導教員ではなく教室に相談すること。

※2 今回の学生募集は実施しない。